

## 第5回クリーン北広島推進審議会配布資料

資料 埋め立てるごみの新たな減量化の方策について

## 埋め立てるごみの新たな減量化の方策について

### 1. 共通事項

#### ごみ分別、排出の意識向上の手法の検討

- ◎多くの市民が参加しやすい出前講座や施設見学の検討及び実施
- ◎分かりやすく、興味を引くような効果的な説明会や啓発の実施
- 市民の指導員等を多く登用し、身近にごみの知識のある人を増やしていく
  - ・環境意識だけでは限界があると思うので、何らかのインセンティブを与える
- 小中学校の中で教育を行い、児童生徒から分別を発信するとともに、長いスパンで分別の意義を浸透させていく

### 2. 生ごみの分別向上(家庭系)

#### 生ごみの収集量が計画量の約40%にとどまっている

##### ごみ袋

- ごみ袋にPRや啓発のマークなどを印刷し、意識の向上と分別の周知を図る
- 3リットルより小さい袋を作成する
  - ・生ごみの袋の価格を普通ごみの袋より安く設定する
  - ・小さい袋を割安にするなど他の袋との価格設定を変える
  - ・資源ごみとして無料にし半透明の袋やバケツでの排出、収集
  - ・モデル地区で半透明の袋に生ごみを出してもらい、無料にした場合の混入状況を調査

##### 排出・収集方法

- 生ごみと普通ごみの収集日を変える
- 生ごみは週2回のままで生ごみ以外を週1回の収集とする
- ◎生ごみを分別しない理由の分析を行い、分別しやすい方策の検討

◎有効な方法であり対応が可能なもの      ○将来的に実施できるが予算や体制整備が必要なもの

### 3. 生ごみの分別向上(事業系)

市の施設からの収集にとどまっており、収集量も計画の4%となっている

◎事業者への個別での分別協力依頼

○生ごみ分別を実施することにより、事業者のインセンティブとなるごみ処理料金の設定及び収集運搬業者の負担の解消

○事業者にメリットがあるような優良企業のランキングや、市での分別認定店制度等の実施

### 4. 資源ごみ

容器包装(紙・プラ)、その他紙類等、資源ごみが普通ごみに混入している  
また、リユース、リサイクルできる粗大ごみや小型家電を埋立処分している

#### 資源の混入

○「普通ごみ」としている名称を「埋立ごみ」に変更し、「埋立ていること」を強調する

○ごみの分別向上のため、市民の指導員を多く登用し、身近にごみの知識のある人を増やしていくことにより、意識の向上を図る

◎分かりやすいパンフレットの作成や説明会の開催

#### 集団資源回収

◎集団資源回収のメリットを周知し徹底を図る

・集団資源回収でのストックヤード設置等に対する助成を行う

#### 粗大ごみ

○粗大ごみのリユースを行ない、管理運営等をシルバー人材センターや市民団体を活用することにより、コミュニティー的な広がりにより環境に対する意識の向上を図る

#### 小型家電

○国の施策に対応した小型家電の回収を行う

### 5. その他埋立ごみの回収

現在、木材やプラスチックなど高カロリーなものが埋立てられているが、これらを回収して燃料として活用することにより、埋立ごみの減量を図る

◎有効な方法であり対応が可能なもの      ○将来的に実施できるが予算や体制整備が必要なもの